

おだぎり たかし は こんな人



神戸市で生まれ育ったおだぎりさん。阪神大震災で就職先を失ったものの、全国的なボランティア活動に共感。「自分も人の役に立ちたい」と21歳で日本共産党へ入党。その後、放射線技師として東葛病院で勤務しました。

経済的理由から受診できない患者さん達の存在を知り、立候補を決意。25歳の初当選以来、現在6期目。最寄り駅での駅頭宣伝は25年目、初心忘れず継続中です。

「助けられたお返し」と各地での震災ボランティアや地元消防団活動等、市民から「気さくで、本当に共産党？」との声をかけられることも。いっぽう、議会発言回数は断トツトップです。新型コロナウイルス対策では、医療従事者の経験が活き、市も県も動きました。改善を迫る姿に、他会派市議も「核心部分に迫る厳しさはさすが」と評価します。

リアルな実態に寄り添い、課題解決に迫る“チカラ”は市議会に絶対欠かせません。



市民と力をあつめ

「住みよい流山」をもっと前へ…



初石駅はトイレ水洗化、跨線橋のエレベーター設置に続き、橋上化へ動き始めました。信号機や防犯灯の設置等、住民



や自治会との協働に力を注ぎ、市道の補修箇所を届ける姿に、市職員から「ご指摘箇所が全市的で、一番多い」との声が聞かれます。

2001年、初石駅トイレ水洗化に向けた署名運動を呼び掛けるおだぎり市議(当時28才)。その後2004年度に実現しました

家計・事業を守れ…

家計を直撃する物価等高騰対策では、保育料減免制度の拡充(22年9月～)、学校給食一部無償化(23年1月～)、高卒までの医療費助成(23年度8月～)と家計応援に全力。コロナ禍でもテイクアウト支援の実現・延長の他、施策拡充に道を開いています。

苦しみを放置しない…

八木北小学校で集団熱中症が…。緊急質問を行い、体育館エアコン設置が実現へ。校舎耐震化・教室エアコン設置・トイレ洋式化の100%に続く成果です。虐待や過去最多を更新する不登校やいじめなど教育相談にも目を配り、人員と予算の拡充を進めています。



日本共産党流山市議団
<http://www.nagareyama-jcp.jp/>

49歳・6期

おだぎり たかし

流山市議会議員 **日本共産党**

プロフィール

- 1973年神戸市生まれ。徳島大学医療短大卒後、市内の病院に診療放射線技師として勤務。
- 東初石2丁目に妻・娘と在住。
- ☎090-8567-8858
- メールアドレス:giindan@nagareyama-jcp.jp



いのち・暮らし最優先へ

軍事費増大

NO!

軍事強化より、対話・外交の努力を

ロシアの武力侵略は国連憲章違反。もし戦争が始まれば、取り返しがつかない事態も…。また、**軍事費大幅増は大増税と福祉削減に直結**します。対話・外交の努力を徹底し、東アジアに平和の枠組みを今こそつくるべきです。



もっと
住みよい
流山

日本共産党4議席と 実現しましょう 一緒に

「いのち」を守る街づくり

消防本部移転・新設を
動かした経験を活かし…

- 救急体制の充実、保健所の市内誘致
- 老朽化した校舎や公共施設の改修
- 虐待ゼロへ 市民に寄り添う体制づくり

財源はあります

- 予算の使い残し(余剰金)45億円と水道会計の黒字(年11億円)を活用しましょう。
- 財政力4位の千葉県が、他県並みに財政負担をすれば、約7億円、市財政の負担が減らせます。

身近な声が届く街づくり

40年の運動で初石駅改善が
着手された経験を活かし…

- TX8両化、通学定期代の改善
- 免許返納者への支援創設、交通安全対策の強化
- 初石駅西口ロータリー・バス停の整備

「家計」応援の街づくり

看護師・介護福祉士への
奨学金実現の経験を活かし…

- 指定ごみ袋「使用強制」の撤回
- 水道料金の引き下げ、国保料等値上げストップ
- 奨学金の拡充、苦学生への支援創設

